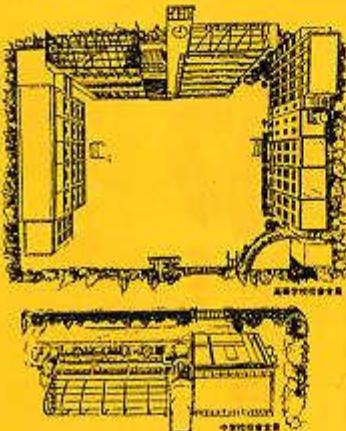
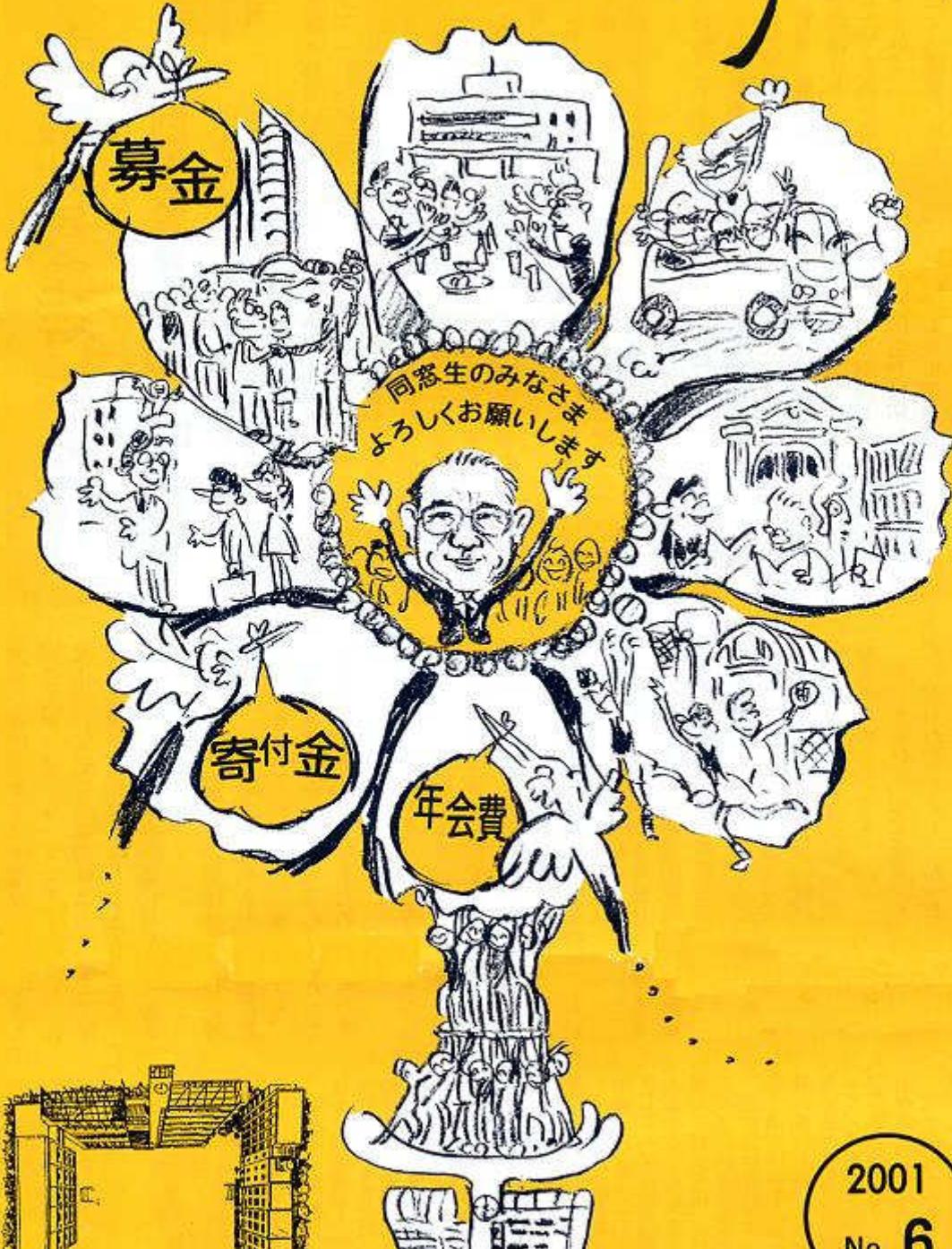


# 学芸



- CONTENTS**
- 会報「学芸」第6号 発行にあたり ..... 2
  - 会長 和田真夫 ..... 2
  - ご挨拶 ..... 2
  - 理事長 井内博見 学校長 鶴谷安弘 中学校長 石野房夫 ..... 2
  - 吉周年記念事業 ..... 4
  - 事務理事 沢上英和 ..... 4
  - 平成12年度第2回成器 学園同窓会 東住吉支部 総会競技会のご報告 ..... 5
  - 西野仁彦 ..... 5
  - 八成会の集い ..... 5
  - 宗平徹大 ..... 5
  - 同窓生組合 ..... 5
  - 西田純・中川恭孝 ..... 5
  - 青年部設立のお知らせ 高木康之 ..... 6
  - 年間行事のご案内 ..... 6
  - 学園だより 大学合格者数 ..... 7
  - クラブ活動 ..... 8
  - 行事報告 ..... 11
  - 同窓会活動報告 ..... 12
  - 附録 ..... 12
  - 平成11・12年度 専業者芳名録 ..... 13
  - 平成13年度同窓会 への募金方お願い ..... 14
  - 平成11年度 決算報告 ..... 14
  - 特別年会費納入についてのお願い ..... 15
  - あとがき ..... 16
  - 平成13年総会及び 騒観会のご案内 ..... 16

2001  
No. 6

2003年 百周年 未来へ翔る大阪学芸！

成器学園同窓会  
大阪学芸中学校 大阪学芸高等学校

# 会報学芸第六号発行にあたり



同窓会会長 和田貞夫

(プロフィール・大阪学芸顧問1部39期・昭和19年卒業  
元衆議院議員・通産政務次官厚生委員長  
協同組合大阪中小企業経営センター理事長)

いまは阿倍野墓地に永眠されている校祖遠藤三吉先生が明治36年（一九〇三年）六月に当時の城東商業学校の経営を引継がれて、浪速区貝塚町（後に馬渕町と改称）の地にわらが母校成器商業学校を創設されたのであります。

その後わが国で初めて、勤労学生のための夜間甲種商業学校（二部）を明治43年（一九一〇年）に併設されたのであります。

爾来98年間の歴史の年輪が刻まれ平成15年（二〇〇三年）には創立100周年を迎えることになりました。

この間、明治、大正、昭和、平成と四時代に亘り約三〇、〇〇〇名の卒業生を輩出し、校祖遠藤三吉先生の教えは今もなお受け継がれ、政界、官界、経済界などで先輩たちが、それぞれ活躍され、幾多の功績を残されてきました。それが成器魂の承継ではないでしょうか。

この100年の歴史の過程で「成器」の名声を博したものには数多くあげられます。全国中等学校優勝相撲大会での優勝、全國商業学校珠算競技大会や大阪府下商業学校珠算競技大会での入賞、全国中等学校弁論大会での入賞、大阪府高等学校弁論大会の主催校、全国高等学校空手道選

抜大会への度重なる参加と入賞、吹奏楽部の御堂筋パレード参加等枚挙に遑がありません。又宗教界や芸能界でも故森寛紹高野山眞言宗元管長や故曾我酒家明蝶師匠等の名があげられます。

これらの方にもそれぞれの職域で成器魂を發揮されて頑張られたことだと推察致します。

少子高齢化の時代に突入し、私学の經營は大変苦しい状況に置かれています。

本校もそれに対応した諸政策を講じてゆく必要に迫られていますが、平成8年（一九九六年）には校名を大阪学芸高等

学校、中学校に改称し、中・高等学校6年の一貫教育による進学校への転進をはかりました。その成果は平成14年3月の初卒業生による大学受験結果の成績に表れてくるものと期待しております。

成器学園同窓会は昭和49年（一九七四年）に初代会長の伊丹名譽会長、当時学長であった渡辺顧問、故橋本幸太郎先生等のご努力によって結成されました。創立100年の歴史をもつ本校の同窓会としては余りにも短い歴史しかありません。

しかし学園の発展は何を差しあいてもりますようにお祈り致します。

今年こそみなさんにとつてよい年であるために「記念基金」を充実する必要があります。基金募金委員会では、委員長を先頭にして募金活動を取り組んでいただいております。この機会に同窓会員のみなさまにも積極的なご協力ををお願いしております。

名実共に進学校として、かつての「成器商業学校」「成器商業高等学校」「成器高等学校」の時代とは明確に一線を画した今の時代の要請に応えられる充実した教育内容、カリキュラム編成、質の高い教員を具備した私学ならではのカラーをもつ学校として、建学の精神は保持しつづけられました。

ご挨拶



井内博見 理事長

大きいと思います。学園役員と教職員と同窓生が一体となって力を出し合い、在校生のご父兄のご協力によって始めて学園の発展が可能になるものと信じます。そこはできません。

然し現在の同窓会の実体は恥かしい限りです。12年度の会費納入の同窓会員数は、12年12月現在で533名に過ぎません。

今後同窓会に若さを注入する手段として青年部組織を立ち上げるため現在その準備をすすめています。

今後各同期会やクラス会等を開催される場合には同窓会本部にご連絡を戴き、でき得れば学園の現況や同窓会の実情を報告させて戴く場に提供願えれば誠に幸甚でございます。又地域の同窓会や職域の同窓会にも同様のご協力を要請したいと存じます。

本校創立100周年が2年後にやってきます。記念式典を初め学園誌の編集、教育施設や教材の充実等多彩な行事計画が準備されることでしょう。なかでも記念事業の目玉として「第2グラン用校地取得費」（4億3千万円）「就学援助制度への助成金」（2千万円）に大きな資金が必要とされています。

そのため、「記念基金」を充実する必要があります。基金募金委員会では、委員長を先頭にして募金活動を取り組んでいただいております。この機会に同窓会員のみなさまにも積極的なご協力ををお願いしております。

名実共に進学校として、かつての「成器商業学校」「成器商業高等学校」「成器高等学校」の時代とは明確に一線を画した今の時代の要請に応えられる充実した教育内容、カリキュラム編成、質の高い教員を具備した私学ならではのカラーをもつ学校として、建学の精神は保持しつづけられました。

二十一世紀初頭を期し、社会の期待と時代のニーズに対応していくため、思い切った脱皮

を計るため学校法人名も学校名と同じくすることを決定しました。

第二に本校は平成十五年（二〇〇三年）六月に学園創立百周年を迎えることあります。

明治三十六年（一九〇三年）の創立は大阪私立学校としては十二番目の古い学校で、尚かつ、百周年を迎える学校は公立を含め数える程度しかありません。この輝かしい歴史と伝統を守りながら、新しく時代の要請をも受け止め、学園の内容充実と発展を計つていかねばならぬと強く思つてゐるところであります。

第三は生徒の進路状況のご報告です。平成十二年進路状況は國公立合格者二十名（和歌山大七名、大阪府立大三名、横浜国大、奈良教育大、高知大、三重大、鹿児島大、各一名等）有名私立大（関関同立）へ四十四名、産近甲龍といわれる京都産大、近畿大、甲南大、竜谷大へ百一名、その他大阪工大、大阪経済大、摂南大、大阪産大、大阪音楽大等延べ大学合格者五百四十五名になっています。

国公立合格者は過去最高、有名四私大についても平成八年以来の高い合格率を出しました。平成八年スタートした六年制男女共学の一貫教育の生徒達は今や高校二年生まで進学してきおり平成十四年の一月以降の大学入試で国公立三十名を目標に勉学に取組んでおり、この第一期生の大学入試結果がどうであるか大きい注目されるところであり、この結果如何が本校の進学校としての評価を左右するといつても過言ではありません。

第四に在校生の人数についてですが平成十二年五月一日現在千四百五十九名おり、そのうち中高一貫コース在籍者四百六十五名（全体の32%）となっています。三年制の高校在籍者は九百九十六名（全体の68%）で平成元年一千八名いた生徒数から見て半減以下に落ち込んでおり、中高一貫教育に踏み切つておらなければ学園経営は大ビンチに陥つていたと思われます。私学経営は一に生徒の確保が喫緊の課題であり、卒業生の皆様の「子息」「ご息女、お孫さん、知人友人の子供さん達を積極的に本校に仕向けて頂くよう切にお願い致します。第五に本校のグランドは体育の授業を消化するためには不足する状態にあります。河南町に

立派なグランドを確保していますが、日常の利用には遠くて授業には使えず、以前より学園本館南側の日本たばこ産業㈱所有の社宅跡地の購入を働きかけてきましたところ、時恰も百周記念事業の一環として同用地千四百二十四平方メートル（四百三十一坪）を購入する話が進み、日本たばこ産業㈱は本校を特定取引（競争入札等をせず）の対象として譲渡してくれることになり平成十二年十一月二十七日に売買契約に基き交渉を終えました。これにより体育授業における運動場不足が解消されると同時に自転車通学する生徒達の駐輪場不足解消にも資する一石二鳥の効果が期待されます。

卒業生の皆様には同窓会長和田貞夫氏との連名で学園への募金をお願いしております。出費多端の折柄、恐縮ながら母校創立百周年の記念事業の目玉として右グランド用地取得を掲げているところです。

何卒母校の発展にお力添えを賜りますよう、募金の件よろしくお願ひ申し上げます。

最後に学園経営は少子化時代の中、益々学校間格差が顕著になります。良い大学へ何名の合格者を出しているかで学校の力がはかられています。たゆみない学園の教育環境、教育内容の充実、満足できる授業内容、先生の熱意等学校をよくしていく課題は幾つもあります。

二十一世紀、創立一世紀も間近に控え将来に亘って自信と誇りに満ちあふれた学園にしていくため学園関係者の一致協力が今ほど求められていることはないでしょう。

二十一世紀を生き続けていく礎を今しっかりと固めておかなければなりません。

卒業生諸氏の学園へのご協力ご支援を再度お願い申し上げご挨拶と致します。



高等学校  
校長  
(三年課程)

ことは、この上ない光栄でございますが、良き歴史と伝統を引き継ぐことの重大さに、息苦しめの緊張と責任を覚えています。

もとより、懸代校長先生に比べてもあります。在任中は、同窓生の皆様方の母校に対する熱き思いを受け止め、能力の限りを尽くして責務を果たしていく所存でございます。

今、生徒数は九八一名でピーク時の半数以下となり、校舎校地の整備も進み、これからは、整った教育環境のもとで勉学に勤しむことが可能となりました。我々教員が力を合わせて、卒業生・保護者の方々の期待に応える教育を展開して行くことができるものと確信しております。

平成十二年卒業生三五〇名の進路は進学希望三三七名、専門学校二〇名、就職三名で大卒業合格状況は國公立大学二〇名、関関同立四名、産近甲龍一〇一名さうに進学効率を高めるため四月より進学コースと特進コースの二つにわたる機構改革を実施しました。

両コースに教頭をおき、特進コースは吉見教頭を中心にして関関同立など有名私立大学へ進学をめざし、進学コースは中谷教頭を中心にして産近甲龍など中堅私立大学への進学をめざしています。

また、国公立大学、センターテスト受験志願者にも五教科型受験に備えています。

両コース共に切磋琢磨して発展してきました。進学講習にも力をいれ本校が目指す大目標、進学校（関関同立合格者二〇〇名以上）になることにむけ、全教職員一致協力して熱心に頑張っています。

クラブの活動状況は空手道部がインターハイ、国体出場、大阪府私学総体、総合優勝（二年連続）女子の部個人総手第五位、バレーボール部が近畿大会に出場するなど活躍しています。

年度途中の変更がいくつかありましたが軌道にのつて成果が目立つています。

生徒会行事として、五月に球技大会、二月に文化祭を実施します。この行事は生徒会の企画、運営により生徒の手でおこないます。

生徒の自主性の育成を目的としています。

最上級学年が五年生（高二）ですので進学実績はありませんが、卒業の頃には京大、阪大、神大をはじめとする國立大学や私立大学に進学してくれるものと教員一同日頃から学習指導に入っています。



中学校  
校長  
(六年課程)

平成十二年度、大阪学芸中学校（六年課程）一年生から五年生までの在籍者数は四五六名です。

各学年 特進コース一クラス（国公立及び医歯薬系）と進学コース二クラス（私立大学）の三クラス編成です。

男女比はおおよそ二対一の割合ですが、この比を一对一にしたいと考えています。

今年度より、二期制を採用し、定期考査は四年回、これにともなって保護者との連絡を密にするために、各定期考査の終了後、学業成績、生活態度、友だち関係、さらに生徒の将来の目標、進路等について、保護者・生徒、担任の三者で懇談をもつこといたしました。

学校行事として、宿泊をともなう行事は年にオリンピック・リーニング、高校生としての勉強への取り組みと心がまえ、五年生は、北海道へ修学旅行、高校生活の楽しい思い出にと各自の学年でたのしい行事となるよう工夫しています。

又、体育祭、大阪学芸音楽祭は学校行事としておこないます。

体育祭は十月十四日（土）、音楽祭は二月十一日（祝）です。

生徒の感性をのばし、情操をたかめ、又、生徒同志のきずなを強めることを目的としています。

生徒会行事として、五月に球技大会、二月に文化祭を実施します。この行事は生徒会の企画、運営により生徒の手でおこないます。

生徒の自主性の育成を目的としています。

最上級学年が五年生（高二）ですので進学実績はありませんが、卒業の頃には京大、阪大、神大をはじめとする國立大学や私立大学に進学してくれるものと教員一同日頃から学習指導に入っています。

このたび、十三代目の校長として奉職できます。

# 百周年の持つ大きな意義

専務理事

## 渕上英範

平成八年十月、百周年募金事業委員会が発足してから四年が経過しました。二代目委員長の井内理事が、理事長に就任されたのを契機に、今年四月から私が三代目を引き継ぐことになりました。

仕事初めに、本校が大阪の私立学校の中でも、何番目に設立されたのかを調べることにしました。

幸い、高校受験関係の「入学案内」に、各校の沿革が書かれているのを見付け、早速調べました。その結果別表のように、九十三番目という古い創立であったことが判明しました。

明治時代の創立は、僅か十四校しかありません。公立・私立合わせて府下二百八十校の中でも、一十三番目に百周年を迎えることになります。明治時代創立の歴史的価値の重さを認識する同時に、その歴史に恥じない学園・学校を守り育てることの責任と使命を、真摯に受け止めました。

創立当時の「成器商業」

の模様が、著名な川柳作家で、卒業生でもある岸本水府に関連して、田辺聖子著「道頓堀の雨に別れて以来なり」岸本水府とその時代（中央公論社刊）の中で次のように表現されています。

「三年制で校長は遠藤三吉という弁護士、授業料は一円、教科書はたくさんあって重い。ことにも嬉しいのは制服のハイカラさ、野暮な白ケートルではなく、黒ラシャに金ボタンの制服、長ズボンである。」

のちに成器商業（前身は城東商業＝城南商業という記録もある）と名が変り、当時の南区馬淵町に移った。教育勅語の「徳器ヲ成就シ」から採って成器と名付けたという。授業程度が高く、いい教師がいた。世界地理には原書を用い、英会話は英人のウイルス先生、この当時の中等学校、ことに男子校がほとんどそうあるように、質実剛健が教育の基本方針である。学校の数もその頃は少なかった。中学校は市立では市岡、天王寺、北野、私立に桃山。商業学校は市立に大阪商業、私立に明星と成器」

つい先日元理事の伊丹先生が、同級生お二人とともに学校に来られました。その時、一橋大学や大阪市立大学などの教授になられた方があった。また野村証券の中興の祖といわれた瀬川美能留氏が同級生であつたというお話を聞きました。

また、昭和十年に執り行われた遠藤先生十三回忌の「十三年祭記念誌」に次のようないいお話を聞きました。

幸運なことに、大変驚きました。

明治十一年三月發行 交友會誌十三

號 本校名譽顧問故從一位大勲位大隈重信候の靈に告ぐ……

創立当時から、大正時代に至る成器商業の大きな存在が実感でき、歴史の重みをズシリと感じないわけにはいきません。

百周年を契機に、歴史に恥じないすばらしい

学園を復興しなければならないという気持ちを今強く意識しています。

私学を取り巻く状況は、少子化と経済不況で厳しいものがあります。今や、学園経営の最重要課題は、「生徒募集」にあります。安定した生徒募集を行うには、生徒や保護者のニーズに応える必要がありま

す。三年から六年に亘る学校教育の中身と成果が、結局生徒募集を左右しているのです。

本学園は、平成八年、国公立大学の進学校を目指して中高一貫の大坂学芸中学

・高等学校を設立しました。来年度で六年が揃い来年三月には一期生が卒業で

します。京大、阪大、神戸大へ十名合格が目標です。また、三年制高校と一緒に関連同立百名以上を合格させる課題もあります。六年一貫の中・高を設立した決断が、今学校そのものを大きく変えようとしています。創立当時の栄光を取り戻す好機が到来しつつあるといえます。百周年を迎えるまでには、何としても生徒や保護者の願いに応える学校造りの展望を掴むつもりです。

さて、百周年を目前に、記念事業の一に設定した「屋外運動場の確保」が早く実現しました。本館前の日本たばこ産業の社宅用地四百三十坪が、十一月末学園の校地となりました。この校地は、屋外運動場、生徒駐輪場等として有効利用する計画です。昭和五十年代、三千坪だった校地は、今や三倍の約九千坪に拡大されました。今回の校地取得は、百周年の前途を祝福する慶事ではないでしょうか。

百周年と二十一世紀に向けて、役員・

教職員一同は、明確なヴィジョンを持って

チャレンジする用意が出来ました。

卒業生の皆さんのご支援と、ご協力を

お願いする次第です。



第2グランド用地

大阪の私立学校創立 I

順位	創立年度(西暦)	私立学校名
1	明治11年(1878)	梅花高等學校
2	明治12年(1879)	ブール学院高等學校
3	明治17年(1884)	桃山學院高等學校
4	明治17年(1884)	大阪信愛女学校高等學校
5	明治17年(1884)	大阪女学院高等學校
6	明治20年(1887)	大商學園高等學校
7	明治21年(1888)	通手門学院大手前高等學校
8	明治21年(1888)	柏愛高等學校
9	明治23年(1890)	土宮高等學校
10	明治31年(1898)	明星高等學校
11	明治25年(1902)	関西大貿高等學校
12	明治36年(1903)	大阪學基高等學校
13	明治38年(1905)	金蘭會高等學校
14	明治42年(1909)	東大谷高等學校
15	大正1年(1912)	關西大學第一高等學校
16	大正3年(1914)	開明高等學校
17	大正5年(1916)	帝尊山學院高等學校
18	大正6年(1917)	尊慈高等學校
19	大正9年(1920)	宣真高等學校
20	大正10年(1921)	明達學園高等學校
29	大正10年(1921)	大阪體育大學養濟高等學校

大阪の私立学校創立 II

順位	創立年度(西暦)	私立学校名
22	大正11年(1922)	四天王寺高等學校
22	大正11年(1922)	慶正社高等學校
22	大正11年(1922)	大阪工業大學高等學校
22	大正11年(1922)	聖母女學院高等學校
26	大正12年(1923)	義達高等學校
26	大正12年(1923)	羽衣高等學校
26	大正12年(1923)	淀之水高等學校
30	大正13年(1923)	北陽高等學校
30	大正15年(1923)	興國高等學校
30	大正15年(1923)	箕面自由學園高等學校
30	大正15年(1923)	四條學園高等學校
30	大正15年(1923)	精華高等學校
30	大正15年(1923)	金光藤原高等學校
36	昭和2年(1927)	大阪英慈高等學校
36	昭和2年(1927)	英真高等學校
38	昭和3年(1928)	大阪莊榮大學附屬高等學校
38	昭和3年(1928)	大阪西美大學高等學校
38	昭和3年(1928)	大阪女子短期大學高等學校
41	昭和4年(1929)	此花女子學院高等學校
41	昭和4年(1929)	大阪國際大和田高等學校
41	昭和4年(1929)	大阪國際井高等學校
41	昭和4年(1929)	大阪女子高等學校

現在学園の百年誌を編集してお  
りますが、卒業生の方で貴重な資  
料をお持ちの方は当委員会まで  
ご連絡下さい。

百周年記念誌編集委員会

平成十二年度 第二回盛岡学園同窓会  
東住吉支部 総会懇親会のご報告

副会長・東住吉支部長（昭和34年卒 高校11期）

西野仁彦

成器学園同窓会のモデル支部として二年前に発足して、一回目の東住吉支部総会懇親会が、平成十二年八月二十七日㈰に前回同様、難波道頓堀ホテルに於いて午後二時から四時半迄開催されました。前回の二十九名から十六名と出席者が減少しましたが、その分和気藹々とした雰囲気で楽しい一時を過ごせました。今回は支部会員六七八名と来賓（十二名、合わせて七〇〇名）にご案内しましたが、二二一通の返書と二十二通の不明返書があり、大半の四五七通が音沙汰無しでした。ご来賓として井内理事長、猪瀬校長先生を初めとして渡辺先生、太田先生、山本先生、野田先生の四人の元校長先生方そして和田会長、大矢副会長がご臨席下さいました。役員以外の貴重な来賓は、連続出席の吉村幸男氏（S二十九年卒・南田辺）そして初めてご出席された上田満氏（S六十三年卒・山坂）と葛本光孝氏（H四年卒・西今川）のお三方でした。計報とし



第2回成器学園東住吉支部同窓会

て、前回出席された吉岡京興氏（S五年卒・元理事・北田辺）と藤原亨二氏（S三九年卒・支部幹事・湯里）が他界されましたことを謹んでご報告致しますと共に、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

次回は秘策を練って一名でも多くの会員の皆様方に出席して頂き、楽しい会にして行く所存ですので今後共宜しくご支援お願い致します。

## 八成会の集い

（2部19期 昭和8年卒）

世話人 宗 平 鐵 夫

去る5月7日、美濃吉心斎橋店で「八成会」（2部19期昭和8年卒）有志の集いを開催しましたので左記の通りご報告します。

### 一、八成会有志の集いについて

昭和8年の卒業生は75名でしたが、戦死・病没等で大部分の友を失い、現在交信のとれる方は13名となりました。何分お互がそれぞれ80歳の半ばを過ぎてきた為、35年前ころは15名ぐらい集りましたのに会を開くたびに1人欠け2人欠けて今回は別添写真の如くやっと4名と云う淋しい集いになりました。役員以外の貴重な来賓は、連続出席の吉村幸男氏（S二十九年卒・南田辺）そして初めてご出席された上田満氏（S六十三年卒・山坂）と葛本光孝氏（H四年卒・西今川）のお三方でした。計報とし



八成会有志の集い

に記念写真を同封してご報告いたします。

二、同窓会の名称問題について

4月22日の役員会で話題になつております。首題の件を、八成会有志の方に意見を伺いました。成器の文字は近い将来必ず消える日が来るとしても、当分の間は三井住友銀行の如く同窓の名称も「大阪学芸成器学園同窓会」にしたらどうかとの要望が強うございましたので、報告芳々申添えます。

## 同窓生短信

近況報告

（平成12年卒業・帝塚山大学法学部・法政学科・一回生）西田純

（高校平成10年卒）中川恭孝

私は法政策と言う全く新しいタイプの法律系の学部で勉強しています。単に法律を知識として覚えるのではなく、社会の変化、国際的接觸の密度化、企業のグローバル化、情報技術の発達、このような背景の中でのトラブルなどが生じた時、満足な成果を生み出せない時、既存の法律を改正、廃止する過程などの政策的思考と、実務で役立つ法的判断力を養っています。現代の社会の動きと絡めて法律を学んでいるため、とても新鮮な気持ちで勉強でき理解度も早いです。

また法律の勉強を生かして資格の方にも挑戦しています。

学生生活の中でのアルバイト、私は近所のスイミングスクールでインストラクターをしています。とは言つものの、おばちゃん達とたわむれているだけです。それがとても楽しく遊びに行っている感じです。なかなか言う事の聞かないおばちゃんが多いです。このおばちゃん慣れは、将来役立りますので、茲

つでしょう！

そして大阪学芸の時の悪友と成器学園同窓会の役員になり、青年部という組織を立ち上げるため、有能な先輩を中心�이がんばっています。また自分達の先輩は凄い人が多く心強いです。社長さんや議員さんなど幅広くいつもワクワクしながら、先輩の話を聞いています。本当に大阪学芸を卒業してから、またお世話をなるとは、思いませんでした。大阪学芸はもうすぐ100周年、男女共学、6年一貫など、これからも学園の発展を祈念してこのへんで失礼します。

## 同窓会と英会話

私は大阪学芸高校卒業後、大阪産業大学へと進学しました。平成十二年の同窓会総会・懇親会に初めて出席させて頂きました。その時の光景は今だに目に浮かびます。私の父や祖父ぐらいの年の大先輩のみなさんの目は輝いておりました。やはり先輩がたはこの成器学園を心から愛しているとつくづく感じました。

しかし、米田・大矢副会長によると毎年同じような顔ぶれだと言っていました。そして私は米田副会長と大引組織委員長よりあることを頼まれました。それは、同窓会青年部を作りたいので協力してほしいと言われました。そして私はその後も何度も学校の同窓会役員会に出席させて頂いております。そして、現在私は同窓会青年部役員としてがんばっております。同期のみなさんも私達と一緒に仕事をしてみませんか。私はみんながくるのを心からお待ちしております。

# 青年部設立のお知らせ

副会長 大矢 隆史（学園教員）

（平成3年卒業） 高木 康之

卒業生の皆様いかがお過ごしでしょうか。  
現在私達は平成13年4月、同窓会青年部設立に向けて準備を進めています。

母校が100周年を迎えるようとしている今、卒業生の若手が中心となって後輩達を応援していきたい。そして積極的なイベント開催などを通じて卒業生の仲間、母校の後輩達と交流を深めながら楽しめるサークルの様な集まりを作っていきたい。

そんな意見が出る中で、昨年の同窓会総会以降、「一度どこまでやれるか失敗を恐れず挑戦しては」との先輩方の励ましのなかで青年部実行委員会として本部役員会と平行して集まりました。

特に平成12年卒の齋谷、西田、徳山、巽のOBが毎回出席して頂き活気にあふれた会議になりました。

そんな中、平成12年11月18日(土)難波二ナー・ミュンヘン大使館で開催されました同窓会秋の懇親会で青年部のブースを作つて頂き、青年部として同期の友人や後輩、若手の先輩方もとも親睦を深めさせて頂き今までにない雰囲気で大変楽しませて頂きました。

具体的には、当面対象年齢を39才迄の

卒業生とし年1回春の総会、懇親会のみ合同で行い、秋の懇親会、その他イベント等は青年部で企画するというものです。

以上、今までの経緯を簡単にご紹介させて頂きましたが、今後いかに楽しい集まりを作っていくか4月設立以降、ひとつひとつ前進させていきたいと青年部実行委員一同はりきっています。

組織としてはまだまだ程とおいかもしませんがきっと楽しい仲間が集まる、そんな夢を持つて活動しています。

現在4月設立にむけてできるだけおくわの皆様にご連絡させて頂きたと活動しております。

個人、クラブOB会、同期会等の情報提供を卒業生の皆様にご協力をお願ひいたします。

また、イベント企画などのご提案や役員の方々を募集しておりますので、お問い合わせ等は以下にご連絡ください。

青年部設立呼びかけ人

同窓会長 和田 貞夫  
副会長 米田 耕作



## 平成十三年度 年間行事のご案内

同窓会では、次の通り年間行事を開催致します。振ってご参加下さい。

- 定期総会（毎年五月の第三土曜日）  
五月十九日(土)二時～於本校会議室  
懇親会（総会終了後開催）  
五月十九日(土)四時～
- 天神祭観覧会  
七月二十五日(水)六時～  
於キャッスルホテル錦城閣

- 高野山普賢院一泊と高野横の湯温泉旅行  
八月四日(土)～五日(日)

### 忘年会

十一月十七日(土)六時～

於ニューミュンヘン大使館

十二月二十二日(土)五時～場所未定

※諸行事に参加ご希望の方には案内状を送付させていただきますので左記宛お申込み下さい。

FAX・葉書にて卒業期・年度と住所、ご貴名・TEL等ご記入の上、ご送付下さいましたら、案内状を送付させていただきます。

宛先  
〒558-0003 大阪市住吉区長居一丁目十五  
大阪学芸高等学校・中学校

成器学園同窓会

TEL〇六一六六九三一六三〇一  
FAX〇六一六六九三一五一七三  
※やむをえない事情により日程を変更することもあります。

## 卒業生の進路

## ●平成12年大学合格者一覧

大学名	H12年
【国公立大学】	
横浜国立大学	1
滋賀大学	1
三重大学	1
大阪府立大学	3
大阪市立大学	1
大阪教育大学	1
奈良教育大学	1
和歌山大学	7
姫路工業大学	1
高知大学	1
下関市立大学	1
鹿児島大学	1
計	20
私立大学	
【関関同立】	
関西大学	17
関西学院大学	9
同志社大学	9
立命館大学	9
計	44
【産近甲龍】	
京都市立農業大学	22
近畿大学	54
甲南大学	10
龍谷大学	15
計	101

大学名	H12年
【関西圏の大学】	
追手門学院大学	11
大阪学院大学	28
大阪経済大学	13
大阪工業大学	24
大阪電気通信大学	9
大阪産業大学	36
大阪商業大学	8
大阪経済法科大学	8
大阪國際大学	5
大阪芸術大学	2
大阪明淨大学	2
大阪音楽大学	4
関西外国语大学	7
四天王寺国際佛教大学	8
損南大学	16
相愛大学	4
阪南大学	17
ブール学院大学	5
南大阪大学	4
桃山学院大学	37
英知大学	3
大手前大学	6
関西福祉大学	1
近畿福祉大学	2
神戸芸術工科大学	7
神戸芸術工科大学	1
宝塚造形芸術大学	2
流通科学大学	2
花園大学	2
京都学園大学	2
佛教大学	5
帝塚山大学	35
天理大学	1
奈良大学	5
奈良産業大学	3
計	325

大学名	H12年
【関西圏以外の大学】	
札幌大学	1
北海道大学	1
北里大学	1
創価大学	2
大東文化大学	1
東京経済大学	1
日本大学	1
北陸大学	1
朝日大学	1
中京大学	2
名城大学	1
大同工業大学	1
日本福祉大学	2
聖隸学院大学	1
医療科学大学	3
立教芸術科学大学	1
福山大学	3
九州東海大学	1
九州保健福祉大学	2
熊本工業大学	1
西日本工業大学	1
計	29
【短期大学】	
大阪工業大学短期大学部	2
大阪電気通信大学短期大学部	4
関西鍼灸短期大学	2
産業技術短期大学	5
国立筑波技術短期大学	7
計	20
【その他の大学校】	
職業能力開発総合大学校	1
近畿職業能力開発大学校	5
計	6

のべ大学合格者 計 545

平成12年4月1日現在

## ●卒業生350名の進路

進学希望	327名	備考
専門学校	20名	
就職	3名	
合計	350名	

大学進学希望者 327名のうち 241名が現役合格

## ●平成12年における指定校推薦の実績

【東日本】	
旭川大学	
函館大学	
筑波経済大学	
山梨学院大学	
高岡法科大学	
名古屋商科大学	
大同工業大学	
経営情報大学	
聖心大学	
松阪大学	
【京都】	
筆谷大学	
京都産業大学	
佛教大学	
京都学園大学	
桜智院大学	
京都創成大学	

【大阪】	
関西外国语大学	
大阪工業大学	
大阪経済大学	
祇山学院大学	
追手門学院大学	
大阪電気通信大学	
阪南大学	
大阪商業大学	
四天王寺国際佛教大学	
大阪産業大学	
大阪国際大学	
大阪学院大学	
大手前大学	
近畿福祉大学	
【奈良】	
奈良大学	
帝塚山大学	
奈良産業大学	
【和歌山】	
高野山大学	
【西日本】	
岡山理科大学	
近畿大学工学部(吳・東広島)	
東邦大学	
第一工業大学	

南大阪大学	
【兵庫】	
甲南大学	
神戸学院大学	
英知大学	
大手前大学	
近畿福祉大学	
【奈良】	
奈良大学	
帝塚山大学	
奈良産業大学	
【和歌山】	
高野山大学	
【西日本】	
岡山理科大学	
近畿大学工学部(吳・東広島)	
東邦大学	
第一工業大学	

別府大学	
日本文理大学	
九州保健福祉大学	
西日本工業大学	
第一経済大学	
赤城大学(旧熊本工大)	
宮崎産業経営大学	
【短期大学】	
中日本自動車短期大学	
池坊短期大学	
大阪産業大学短期大学部	
大阪電気通信大学短期大学部	
関西外語大学短期大学部	
大阪青山短期大学	
羽衣学園短期大学	
白鳳女子短期大学	
徳島工業短期大学	
福岡工業短期大学	

## 学園だより

### ◆空手道部◆

火の国旗全国高等学校空手道優勝大会  
平成12年5月4日 於 熊本市総合体育馆

団体組手 ベスト16

2回戦 大阪学芸〇(4人残し)×佐世保東翔(長崎)

3回戦 大阪学芸〇(5人抜き)×土浦日本大学(茨城)

4回戦 大阪学芸×(2人残し)○鹿児島城西(鹿児島)

(出場選手) 藤村、森、大原、札野、山田、森

充央(3年)が5人抜き表彰を受けた。

大阪府春季大会 平成12年6月3~4日

於 東大阪市立総合体育馆

団体形 優勝  
(出場選手) 松田、樋東、真浦、河合、佐藤

団体組手 優勝  
(出場選手) 藤村、森、大原、札野、山田

3回戦 大阪学芸〇5-0×東海大仰星

準々決勝 大阪学芸〇4-1×関西大第一

準決勝 大阪学芸〇3-2×啓光学園

決勝 大阪学芸×1-4〇柏原

(出場選手) 藤村、森、大原、札野、山田

個人形 優勝 藤村(2年)

第3位 河合 正典(2年)

個人組手 優勝 藤村(2年)

上記の結果により、藤村(個人組手)、奥村(個人形)のインターハイ出場が決定した。

24名中2位 (セーバイ) 予選通過  
12名中5位 (スバーリンペイ)  
準決勝進出するも決勝進出ならず  
個人組手 藤村 学樹 3回戦敗退  
個人組手 藤村 学樹 3回戦敗退  
個人組手 藤村 ○6-3×二瓶(作新学院・栃木)  
3回戦 藤村○1-3×本川(碧浦・長崎)  
大阪高校総体 平成12年8月28日  
於 堺市立大浜体育馆

団体形 優勝  
(出場選手) 真浦、河合、佐藤、井畑(2年)、  
西岡(1年)  
団体組手 優勝  
(出場選手) 真浦、河合、佐藤、井畑(2年)、  
西岡(1年)  
3回戦 大阪学芸〇5-0×大阪電通大  
準々決勝 大阪学芸〇3-2×啓光学園  
準決勝 大阪学芸〇2-2×浪速(内容勝ち)  
決勝 大阪学芸×1-3〇柏原  
(出場選手) 札野、山田、和田(2年)、  
中塚、東野(1年)

7月17日(月)私学大会  
1回戦(浜寺公園第2G)対 英真 7-10  
7月18日(火)私学大会  
2回戦(大工大高G)対 大商学園 1-7  
7月21日(金)練習試合 対 帝塚山泉ヶ丘 2-6  
8月2日(木)~8月6日(月)夏季合宿(信州上倉莊)  
8月10日(木)練習試合 対 信太 2-4  
8月13日(日)高校総体開会式(長居球技場)  
8月23日(木)練習試合 対 四天王寺羽曳ヶ丘 2-5(A戦)  
8月27日(日)高校総体  
1回戦(和泉工G) 対 今宮工 2-6

男子団体戦  
2回戦 大阪学芸 ×-1〇 福田  
出場選手 先鋒 田中崇裕 次鋒 小谷剛史  
中堅 川元健太郎 副将 原隆史  
大将 竹田隼也  
男子A  
2回戦 川元(大阪学芸)×-1〇川田(福井)  
男子B  
2回戦 竹田(大阪学芸)×-1〇轟本(福井)  
女子A  
1回戦 中野(大阪学芸)×-1〇山之内(島上)  
男子B  
2回戦 竹田(大阪学芸)×-1〇轟本(福井)  
女子A  
1回戦 中野(大阪学芸)×-1〇山之内(島上)  
男子C  
2回戦 竹田(大阪学芸)×-1〇轟本(福井)  
出場選手 先鋒 田中崇裕 次鋒 竹田隼也  
中堅 川元健太郎 副将 岩玉徹  
大将 二ノ宮佑介

全国高校総体(インターハイ)  
平成12年8月7~11日 於 岐阜県美濃加茂市

(本校として団体出場は5年連続5回目)

出場決定 空手道部3年 藤村学磨 奈良県代表

### ◆サッカー部◆

第47回大阪府私立高等学校剣道大会  
平成12年6月4日(日)

男子団体戦  
2回戦 大阪学芸 ×-1〇 太成

出場選手 先鋒 竹田隼也 次鋒 高宮敬

中堅 川元健太郎 副将 原隆史  
大将 小谷剛史

4月16日(日)春季サッカーカー大会  
1回戦(淀川工業G)対 北淀 P.K.4-5

4月29日(日)練習試合 対 信太  
2-6(A戦) 2-4(B戦)

7月16日(日)私学大会開会式(近大高グランド)

7月17日(月)私学大会  
1回戦(浜寺公園第2G) 対 英真 7-10

7月18日(火)私学大会  
2回戦(大工大高G) 対 大商学園 1-7

7月21日(金)練習試合 対 帝塚山泉ヶ丘 2-6

8月2日(木)~8月6日(月)夏季合宿(信州上倉莊)

8月10日(木)練習試合 対 信太 2-4

8月13日(日)高校総体開会式(長居球技場)

8月23日(木)練習試合 対 四天王寺羽曳ヶ丘 2-5(A戦)

8月27日(日)高校総体  
1回戦(和泉工G) 対 今宮工 2-6

### ◆剣道部◆

#### 第47回大阪府私立高等学校剣道大会

平成12年4月29日(祝) 於 大阪市立修道館

男子団体戦  
2回戦 大阪学芸 ×-1〇 太成

出場選手 先鋒 竹田隼也 次鋒 高宮敬

中堅 川元健太郎 副将 原隆史  
大将 小谷剛史

4月16日(日)春季サッカーカー大会  
1回戦(淀川工業G) 対 北淀 P.K.4-5

4月29日(日)練習試合 対 信太  
2-6(A戦) 2-4(B戦)

7月16日(日)私学大会開会式(近大高グランド)

7月17日(月)私学大会  
1回戦(浜寺公園第2G) 対 英真 7-10

7月18日(火)私学大会  
2回戦(大工大高G) 対 大商学園 1-7

7月21日(金)練習試合 対 帝塚山泉ヶ丘 2-6

8月2日(木)~8月6日(月)夏季合宿(信州上倉莊)

8月10日(木)練習試合 対 信太 2-4

8月13日(日)高校総体開会式(長居球技場)

8月23日(木)練習試合 対 四天王寺羽曳ヶ丘 2-5(A戦)

8月27日(日)高校総体  
1回戦(和泉工G) 対 今宮工 2-6

### ◆卓球部◆

#### 第55回大阪高等学校総合体育大会剣道大会

平成12年8月17日(木)

於 はびきのコロセアム

男子団体  
大阪学芸 ×-1〇 高津

出場選手 先鋒 田中崇裕 次鋒 竹田隼也

中堅 川元健太郎 副将 岩玉徹

大将 二ノ宮佑介

5月3日(木)

国体予選

於 大浜体育馆

堀尾(3年)、高垣(3年)、河合(2年)

全員2回戦にて敗退

5月4日(木)



## 動報告

第55回国民体育大会(富山)空手道競技  
平成12年10月14~17日 於 富山県上市市

大阪学芸 0対36 関西大倉高

5月4日本体

5月3日本体

5月4日本体

5月4日本体

5月4日本体

5月4日本体

5月4日本体



# ク ラ ブ 活

×河合（学芸）1-2原子（東住工）○

会長杯 決勝トーナメント戦

予選 男子個人戦中央大会

8月17日(木)

平成12年5月13日

大阪高校新人大会（男子シングル）

於 東淀川体育館

研修試合

大阪学芸高校 ②-1 天理高校（奈良県）

1回戦

○河合（学芸）2-1正木（岸産）×

大阪学芸高校 1-2 小松工業（石川県）

2回戦

×坂本（学芸）0-2遠藤（豊中）○

大阪学芸高校 1-2 松工（石川県）

3回戦

×伊藤（学芸）0-2岡本（星光）○

大阪学芸高校 1-2 松工（石川県）

予選 男子団体戦予選リーグ戦

平成12年4月22日

於 池島高校

予選 第E-1リーグ

8月18日(金)

大阪高校新入大会（チーム戦）

於 東淀川体育館

1回戦

×河合（学芸）1-2西村（高槻）○

大阪高校春季大会（インターハイ・近畿大会大阪府

予選 男子団体戦予選リーグ戦

平成12年4月22日

於 池島高校

予選 男子団体戦中央大会

平成12年6月4日

於 服部緑地公園テニスコート

1回戦

大阪学芸高校 1-2 大成高校

1回戦

橋本・初瀬 0-1 吉川・木島

1回戦

橋本・初瀬 0-1 山中・近藤

1回戦

橋本・初瀬 1-4 水谷・植村

1回戦

橋本・初瀬 1-4 谷口・大野

1回戦

橋本・初瀬 1-4 泉尾高校

1回戦

橋本・初瀬 1-1 狹山高校

1回戦

橋本・初瀬 1-1 桑江・稀吉

1回戦

橋本・初瀬 1-1 西井・平岡

1回戦

橋本・初瀬 1-1 南川・巳波

1回戦

橋本・初瀬 1-1 岩田・高橋

1回戦

橋本・初瀬 1-1 長谷川・長谷川

1回戦

橋本・初瀬 1-1 山上・松本

1回戦

橋本・初瀬 1-1 山上・松本

1回戦

橋本・初瀬 1-1 松本・大川

1回戦

橋本・初瀬 1-1 泉尾高校

1回戦

橋本・初瀬 1-1 狹山高校

1回戦

橋本・初瀬 1-1 桑江・稀吉

1回戦

橋本・初瀬 1-1 西井・平岡

1回戦

橋本・初瀬 1-1 南川・巳波

1回戦

橋本・初瀬 1-1 岩田・高橋

1回戦

橋本・初瀬 1-1 長谷川・長谷川

1回戦

橋本・初瀬 1-1 山上・松本

1回戦

橋本・初瀬 1-1 松本・大川

1回戦

橋本・初瀬 1-1 泉尾高校

1回戦

橋本・初瀬 1-1 狹山高校

1回戦

橋本・初瀬 1-1 桑江・稀吉

1回戦

橋本・初瀬 1-1 西井・平岡

1回戦

橋本・初瀬 1-1 南川・巳波

1回戦

橋本・初瀬 1-1 岩田・高橋

1回戦

橋本・初瀬 1-1 長谷川・長谷川

1回戦

橋本・初瀬 1-1 山上・松本

1回戦

橋本・初瀬 1-1 松本・大川

1回戦

橋本・初瀬 1-1 泉尾高校

1回戦

橋本・初瀬 1-1 狹山高校

1回戦

橋本・初瀬 1-1 桑江・稀吉

1回戦

橋本・初瀬 1-1 西井・平岡

1回戦

橋本・初瀬 1-1 南川・巳波

1回戦

橋本・初瀬 1-1 岩田・高橋

1回戦

橋本・初瀬 1-1 長谷川・長谷川

1回戦

橋本・初瀬 1-1 山上・松本

1回戦

橋本・初瀬 1-1 松本・大川

1回戦

橋本・初瀬 1-1 泉尾高校

1回戦

橋本・初瀬 1-1 狹山高校

1回戦

橋本・初瀬 1-1 桑江・稀吉

1回戦

橋本・初瀬 1-1 西井・平岡

1回戦

橋本・初瀬 1-1 南川・巳波

1回戦

橋本・初瀬 1-1 岩田・高橋

1回戦

橋本・初瀬 1-1 長谷川・長谷川

1回戦

橋本・初瀬 1-1 山上・松本

1回戦

橋本・初瀬 1-1 松本・大川

1回戦

橋本・初瀬 1-1 泉尾高校

1回戦

橋本・初瀬 1-1 狹山高校

1回戦

橋本・初瀬 1-1 桑江・稀吉

1回戦

橋本・初瀬 1-1 西井・平岡

1回戦

橋本・初瀬 1-1 南川・巳波

1回戦

橋本・初瀬 1-1 岩田・高橋

1回戦

橋本・初瀬 1-1 長谷川・長谷川

1回戦

橋本・初瀬 1-1 山上・松本

1回戦

橋本・初瀬 1-1 松本・大川

1回戦

橋本・初瀬 1-1 泉尾高校

1回戦

橋本・初瀬 1-1 狹山高校

1回戦

橋本・初瀬 1-1 桑江・稀吉

1回戦

橋本・初瀬 1-1 西井・平岡

1回戦

橋



行事報告

平成十一年度 同窓会定期総会報告

年度 同窓会定期総会報告  
厚生委員 高木 康之

平成十二年四月十五日(土)午後二時より本校会議室に於いて、平成十二年度総会が開催されました。

開会にあたり、井内博見会長より理事長就任の挨拶ならびに、新同窓会長に和田貞夫顧問が役員会において推薦された経緯等が報告されました。

統いて、足立好一前理事長より来賓挨拶、大阪学芸高等学校校長、猪瀬正雄先生からは、詳細にわたる学事報告がおこなわれました。



## 総会出席者 校庭にて

その後は、各役員、委員により活動報告や年度方針、会計報告がなされ、人事においては、和田貞夫新会長以下、新役員、委員が選出されました。

最後に田仲弘義副会長より閉会の挨拶がなされ、同窓生達の温かい協力により総会は、盛会に終了することができました。

四時からは、会場を本校近くの長居パークホテルに移して、春期懇親会が開催されました。

その後は、各役員、委員により活動報告や年度方針、会計報告がなされ、人事においては、和田貞夫新会長以下、新役員、委員が選出されました。

最後に田仲弘義副会長より閉会の挨拶がなされ、同窓生達の温かい協力により総会は、盛会に終了することができました。

四時からは、会場を本校近くの長居パークホテルに移して、春期懇親会が開催されました。

**高野山普賢院一泊と高野横の湯温泉旅行**

入った。入浴の後昼食会となる、地元自然の鮎の塩焼きは好評だった。和気あいあいの内にカラオケタイムとなり、時の経つのも忘れた。ホテル側から出発時間の知らせがあり残念ながら数名のカラオケ申込み分をキャンセルし足早にホテルの送迎バスに乗り込み高野山駅へと向かつた。日曜日でもあり車の渋滞で列車時刻を気にしながらひやりとする場面もあったが、予定の急行に全員乗車出来、高野山を後にした。今年もこの旅行を企画致しますので多数の方の参画をお願い致します。尚且つ全員ここで案

實に準備を進め船を広げてきました。青年部の詳細はここでは避けますが、その受け組作りの予備段階として動いているのです。来年の総会で承認を得てから正式に青年部同窓会がスタートします。今日出席の彼達は同窓会の救世主であり、将来の担い手となるでしょう。

高野山普賢院一泊と高野横の湯温泉旅行

金谷道雄副会長の司会により幕が開き、同窓生達も一気に和やかな雰囲気につつまれました。和田貞夫新会長、足立好一前理事長、井内博見新理事長より挨拶がおこなわれ、高野光男顧問より乾杯が盛大になされました。

その後、吹奏楽部の生徒による演奏がさりに同窓生達の雰囲気を盛り上げ、若い卒業生達、年輩の卒業生達の世代をこえて、互いの学生時代の思い出に花をさかせました。

最後は、吉田末広顧問による万歳三唱、来田耕作副会長による閉会の挨拶が行われ、幕を閉じました。



普賢院経堂前にて

一真言密教の聖地』特に真夏には訪れる人々に涼しさを与え又連日の猛暑からの疲れを癒してくれた。

今回は毎回ご出席の井内博見理事長ご夫婦を始め和田貞夫会長そして元P.T.A役員の方々北村雅種氏、西野仁彦副会長のそれぞれご夫婦のご参加で夕食会は盛り上がった。

内状の発送ができませんので参考ご希望の方は同窓会事務局迄ご一報ください案内状を送付させて頂きます。

秋季懇親会のご報告

副会長 米田耕作

—真言密教の聖地—特に真夏には訪れる人々に涼しさを与え又連日の猛暑からの疲れを癒してくれた。

今回は毎回ご出席の井内博見理事長ご夫婦を始め和田貞夫会長そして元P.T.A役員の方々、北村雅種氏、西野仁彦副会長のそれぞれご夫妻のご参加で夕食会は盛り上がった。

翌朝六時三十分より勤行が始まりその後全員で奥の院に参拝した。

参拝のあと雲峰高野山、出て湯の里「高野本廟の湯温泉」まで足をのばした。先ずは楓の季りがたちこめる大浴場「天然ラドン含有温泉」で自然に包まれた優雅な芬悶気の中、山峡の静かなたたずまいを存分に味わいながら温泉から

内状の発送ができませんので参加ご希望の方は同窓会事務局迄ご一報ください案内状を送付させて頂きます。

その後、上木戸顧問による乾杯音頭で宴会に入り、司会が金谷副会長に交替した後、アトラションが始まりました。いつもの名調子でプロ歌手の林田麻友子（コロンビア所属）さんを紹介し、イントロのメロディが流れ拍手と共に歌いながらさっそうと登場しました。暫くは持ち歌を熱唱したかと思うと次に飛び入りを招いてデュエット曲を数曲聴かし、楽しませてくださいました。更にカラオケで大先輩も青年後輩達もマイクをとり合い自慢の喉を競い合いました。

最後は同窓会の歌と新旧の校歌を齊唱し、応援団の泉谷氏が万歳三唱し、田仲副会長の閉会の挨拶で定刻に終了しました。

A副会長、中塚P.T.A副会長がご出席されました。主賓として、山本元校長先生をして守



温かいご寄付に感謝

寄付金応募者芳名録

成器学園同窓会・募金事業へのご支援を本会報を通じ、同窓生の皆様にお願いいたしましたところ多数の皆様から温かいご寄付を頂戴いたしております。こゝにご芳名を掲げ多く感謝の意を表します。

奥田	宣楼様(昭和29年卒)尼崎市	佐藤 幸大様(昭和9年卒)	保林様(昭和27年卒)入船市東住吉区	仲西 見様(昭和31年卒)大森市山田町
宮川	創様(平成5年卒)堺市	浅田 晋明様(昭和48年卒)	岡本 温夫様(昭和7年卒)	田中 市
寺田	高洁様平成10年卒)泉大津市	羽曳野市	長泽 勝利様(昭和32年卒)	市
田中	總様(昭和27年卒)更大阪市	市	園本 博様(昭和11年卒)	木
小谷	茂秋様昭和43年卒)堺市	青山 明様(昭和36年卒)	戸市	北島利一郎様(昭和7年卒)
田中	末一様昭和10年卒)藤井寺市	堺市	市	戸市
中田	末捷様昭和25年卒)大阪市守山区	鶴木 雅和様(平成9年卒)	大野 均様(昭和10年卒)	大森市東住吉区
盛野	茂生様昭和13年卒)鳥羽市	平賀 亮三様(昭和30年卒)	大野 大野	大野 均様(昭和10年卒)
相田	一也様昭和61年卒)大森市鈴鹿区	川崎市	市	大野 均様(昭和10年卒)
田中	峰夫様昭和20年卒)豊中市	村田 一治様(昭和16年卒)	市	大野 均様(昭和10年卒)
北村	裕次様昭和63年卒)堺市	木下 田中善三郎様(昭和17年卒)	市	大野 均様(昭和10年卒)
金谷	晴三様昭和25年卒)印西市	市	良 泰良市	大野 均様(昭和10年卒)
和田	直夫様昭和19年卒)堺市	中村 凡夫様(昭和16年卒)	市	大野 均様(昭和10年卒)
井内	節男様昭和18年卒)大阪市東住吉区	市	柴田 猛様(昭和13年卒)	市
田中	弘義様昭和22年卒)大阪市阿倍野区	市	前 市	大野 均様(昭和10年卒)
松田	和人様昭和41年卒)和泉市	乾 繁之様(昭和35年卒)	市	大野 均様(昭和10年卒)
平野	尤三様昭和23年卒)大阪市阿倍野区	藤原 守夫様(昭和16年卒)	市	大野 均様(昭和10年卒)
赤井	照夫様(昭和19年卒)三木市	山 市	市	大野 均様(昭和10年卒)
熊井	敏彦様昭和62年卒)高石市	土庶 惠三様昭和34年卒)大阪市阿倍野区	市	大野 均様(昭和10年卒)
		小田 裕紀様(昭和44年卒)	市	大野 均様(昭和10年卒)
		河守 武士様(昭和39年卒)	市	大野 均様(昭和10年卒)
		尼川 健二様(昭和31年卒)	市	大野 均様(昭和10年卒)

林	直亮様(平成10年卒)貝塚市	津木	要蔵(昭和17年卒)大阪市福島区
井阪	光伸様(平成5年卒)岸和田市	仲本	美代建様(昭和13年卒)大阪市住吉区
栗本	久次様(昭和47年卒)岸和田市	麻生川	崇様(平成6年卒)泉佐野市
耕	唐浩様(昭和60年卒)大阪市阿倍野区	浜口	健一様(昭和20年卒)大阪市平野区
永谷	友一様(昭和36年卒)大阪市阿倍野区	山本	政一様(昭和40年卒)堺市
村田	英治様(昭和18年卒)大阪市西成区	吉田	浩様(昭和5年卒)藤井寺市
池内	一成様(昭和33年卒)岸和田市	星川	洋介様(平成17年卒)高石市
福井	良明様(昭和34年卒)大阪市中央区	水野	順孝様(平成10年卒)泉南郡
浅野	榮二様(昭和10年卒)大阪狭山市	宮内	信一様(昭和24年卒)大阪市阿倍野区
松田	博史様(昭和5年卒)藤井寺市	宮内	博見様(昭和25年卒)松原市
岡	和幸様(平成10年卒)大阪市淀川区	宮内	卓也様(平成11年卒)大阪市阿倍野区
相田	純一様(平成3年卒)泉南郡	上田	雄五様(昭和33年卒)大阪狭山市
新居	賀一様(昭和48年卒)大阪市住吉区	上田	雄五様(昭和33年卒)大阪狭山市
金	哲雄様(昭和42年卒)大阪市東淀川区	瀬口	賢士様(平成9年卒)大阪市港区
猪	俊宏様(平成12年卒)大阪市西区	森下	正吉様(昭和13年卒)大阪市平野区
高木	尚貴様(平成12年卒)泉州北郡	丸山	光次様(昭和28年卒)大阪市淀川区
吉田	良雄様(昭和15年卒)那霸市	佐々木	繁様(昭和58年卒)松戸市
大田	良雄様(昭和15年卒)那霸市	川本	義様(昭和10年卒)堺市
康之様(平成3年卒)名張市	山上(住)久二様(昭和20年卒)寝屋川市	福井	重博様(昭和24年卒)六尾市
安田	正光様(昭和20年卒)大阪市東住吉区	太田	峰一様(昭和26年卒)大阪市天王寺区
		峰	伸野
		誠矢様	市

# 温かいご寄付に感謝

## 寄付金応募者、芳名録

松田 雄三様(昭和24年卒)大阪市生野区  
今井 義明様(昭和13年卒)福井市

平成 13 年度

## 成器学園同窓会への 募金につきご支援方 お願い

この会報を全同窓生にお届けすることで、母校への関心を高めて頂き、同時に同窓会活動にもご理解とご協力を得たい

平成八年度からは、特別年会費もお願  
いし、申し訳ない次第ですが、同窓会財  
政の健全化、活動の活発化及び会報継続  
発行等々に資するため、何卒ご理解を賜  
り、ご協力、ご支援のほどお願い申し上  
げます。

平素は、成器学園同窓会に物心両面に亘り、温かいご支援を賜り有難く厚く御礼申し上げます。

平成十二年度（平成十二年一月一日～平成十二年十二月三十一日まで）募金事業は、募金者数百九十一名、金額百五十一万八千五百円に達し、貴重なご芳志を賜りました。この募金にご協力頂きました方々のご芳名を13頁に記載させて頂きました。ここに、改めて深く感謝の意を表します。

同窓会活動の活発化、年一回の会報「学芸」発行を通じての母校と同窓生との心の繋ぎ役として、又、二年後に迫りつつある学園創立百周年に際し、同窓会としてあらん限りの協力をしていくためにも、募金活動は、13年度も継続実施致します。

同窓会が健全で活発に活動している学校は学校そのものが高い評価を受け、世間の評判も良好です。

同窓生と母校を結びつける絆は、同窓会報「学芸」だけであります。



募金先		平成十三年度募金事業本部	
連絡先	〒588-0003	大阪市住吉区長居	一丁目四番十五号
募金主体	成器学園同窓会	一口一万円口数制限なし	で（ただし事情により一 口単位に達しない場合に も喜んで）お受け致しま す。
募金方法			
委員	渡壁辰夫（元校長）		
募金本部長			
員			
和田 貞夫	田仲 弘義		
久米 雅男	藤田 光雄		
井原 靖二	本田 重彦		
金谷 道雄	上野寅次郎		
西野 仁彦	米田 耕作		
大矢 隆史	松田 和人		
北村 裕次	高木 康之		

平成十一年度 決算報告

平成11年度 収支決算書				
(自 平成11年4月1日～至 平成12年3月31日)				
収入の部		単位：円		
科 目	予 算 額	決 算 額	差引増減額	備 考
会 費	1,890,000	1,756,000	△ 134,000	平成12年卒業生350名分×5千円
特 別 年 会 費	2,000,000	1,077,470	△ 922,530	658名分×2千円＝1,316,000円 [手数料138,530円] 差引後1,077,470円
特別会計余剰金	100,000	385,368	285,368	定期積み余剰金83,936円、高野山修学余剰金59,488円 秋季積み余剰金161,944円
雑 収 入	10,000	13,767	3,767	名簿代3,000円、旅費手数料140円 支引3,366円及びクレジット費金407円
広 告 料	360,000	358,460	△ 1,540	会報2冊(コマ)×60万円＝360,000円 [旅費手数料1,540円 差引358,460円]
寄 付 金	30,000	0	△ 30,000	
預 金 利 息	1,000	360	△ 640	さくら銀行普通預金利息
年 会 費 返 却	0	△ 2,000	△ 2,000	在校生誤入会返却
基本財産より繰入れ	3,000,000	3,000,000	0	
前 期 預 超 金	1,594,571	1,594,571	0	
合 计	8,895,571	8,097,996	△ 797,575	

支 出 の 部	科 目	予 算 額	決 算 額	差引増減額	備 考	単位：円
会 費	賃 費	200,000	160,000	△ 40,000	総会現職会員賃料、記念品代、総会経費	
会 費	旅 費	50,000	0	△ 50,000		
会 費	車 費	1,350,000	1,328,850	△ 21,150	来校会員工賃料100万円内外会員料6百に明細記入	
会 費	印 刷	2,000,000	1,946,427	△ 53,573	巡回会報「学芸」印刷費、各行会案内印刷	
会 費	通 信	1,500,000	1,297,200	△ 202,800	同上会員料150万通帳代、各種公報代、賃金改定化資料代、年会料	
会 費	耗 品	30,000	11,511	△ 18,489	文房具貢費、時間代	
会 費	事 業	0	0	0	事務機器代	
会 費	寄 贈	300,000	190,000	△ 110,000	吹奏楽部、空手道部、への援助費	
会 費	記念品	100,000	272,454	△ 172,454	卒業旦暮を入れるブックを全卒業生に送呈￥244,104円、新卒誕生日記念品	
会 費	通 用	100,000	40,885	△ 59,115	東京成育会他院のための旅泊費、交通費	
会 費	賃 費	50,000	8,951	△ 41,049	総合会員マーティン、Tシャツ、振込手数料、税金算定料	
会 費	品 物	0	0	0		
会 費	出 国	100,000	0	△ 100,000		
(会 費 小 計)		5,780,000	5,256,278	△ 523,722		
会 費	総 合	3,115,571	2,841,718	△ 273,853		
会 費	合 計	8,895,571	8,097,996	△ 797,575		

平成十一年四月一日(平成十二年三月三十一日までの収支決算、財産目録は左記の通りです)。毎年卒業生には同窓会から卒業証書を入れバックを全員に、同窓会幹事に就任してくれるクラスの代表二名、学年全体で十七名には委嘱状と記念品を贈呈しています。春の定期演奏会、秋の御堂筋パレード等で活躍している吹奏楽部をはじめ、全国大会インスターハイ出場の空手道部、全国高校総合文化祭で頑張っている詩吟部、等近畿六大会や全国大会に出場の際には同窓会より金一封を贈呈す。

諸活動に協力しています。平成十一年度の「募金」は同窓生のご支援、ご協力により平成十一年四月一日より平成十二年三月三十日までの間に募金者数一八五名、募金額百四十万五千五百〇円に達しました。また「特別年会費」も平成十一年四月一日より平成十二年三月三十日までの間で、納入者五百五十八名、納入額百七万七千四百七十五円の温かいご協力を賜りました。ここに、深く感謝の意を表し、厚くお礼申上げます。尚左記決算書は平成十二年四月十五日(土)開催の定期総会にてご承認を得ております。

同窓生各位

## 成器学園同窓会

会長 和田貞夫

## 特別年会費納入についてのお願い

同窓会活動の活発化、財政の健全化及び同窓会報「学芸」の継続発行のため平成9年2月から新しく導入されました「特別年会費」制度は発足から4カ年が経ちました。

ご高承の通り「特別年会費」制度は少子化時代に入った現在、学園から交付される同窓会費（高校3年在学生が卒業時までに学園に納付し、年度末近くに同窓会へ交付されるもの）が年々減少していく見込であることから平成8年度の同窓会総会で承認決議されたものです。すなわち同窓各位に年間2千円のご負担をお願いし、同窓会活動の源資として活用させて頂くことになったものであります。

お陰をもちまして特別年会費制度確立により財政基盤はそれなりの改善を見てきましたが、このところ年々「特別年会費」の受入状況が低下してきております。

## 特別年会費受入れ状況

年 度	納入者	受入金額
平成8年度 (平8/4/1~ 9/3/31)	508名	1,016,000円
平成9年度 (平9/4/1~ 10/3/31)	825名	1,650,000円
平成10年度 (平10/4/1~ 11/3/31)	573名	1,146,000円
平成11年度 (平11/4/1~ 11/12/31)	83名	166,000円
平成12年度 (平12/1/1~ 12/12/31)	533名	1,066,000円

平成15年（2003）には学校創立100周年を迎えます。「百周年、未来へ翔る大阪学芸」のキャッチフレーズを掲げ、学園では百周年記念事業として本校の南隣に平成12年12月に第2グランドを取得し、教育管理ランシステム設備、就学援助制度への助成等急ピッチで進められています。学園の縁の下で支えてゆく役割りを果たすのが卒業生であります。この100周年を機に学園の歴史に残る何らかの有意義な貢献・協力をしたいと考えております。どうか同窓諸氏のご支援ご協力を心からお願い申し上げる次第です。

つきましては会報と同封しております郵便局の「払込取扱票」にて同窓会宛お振込方、よろしくお願い致します。

また別途同窓会募金事業は今年度も引き続き実施しますので、出費多端の折柄恐縮ですがこちらの方も奮ってご支援賜りますようお願い申し上げます。

尚 勝手乍ら特別年会費の領収証は振込時の郵便局受領証にて代行願い、同窓会としての領収証の発行は省略させて頂きますので予めご了承下さい。

